

四月から『後免野田』に……後免保

ました。

「後免保育所」（猪野重子所長）は、昭和三十四年に建られた木造の園舎が老朽化したことや狭くなつたため、後免野田小学校の南の旧土電安芸線軌道沿いの用地三千二百三十八平方㍍に、昨年八月から総事業費一億八百七十万円で建築を進めていたものです。完成した新園舎は、鉄筋コンクリート造二階建て、延べ面積八百六十㍍、二階は、幼稚の保育室五、ホール、調理室など。二階は、乳児の保育室二、職員室。子供たちのがのびる遊びの場として、これまでと比べると建物や運動場もぐんと広く、室内も明るくなり、三月五日の落成式に出席した父兄や関係者らは、環境は満点」と、新園舎の完成を祝つてい

後免保育所・国府小学校が完成

鉄筋コンクリート造2階建て、総事業費1億870万円で完成した後免保育所

「國府小学校」（竹村一校長）と「國府小学校」がこのほど相次いで完成——二月五日、十二日にそれぞれ落成式が行われ、待ちに待つて立派な新園舎、新校舎の完成を祝いました。

特別教室が充実……國府小

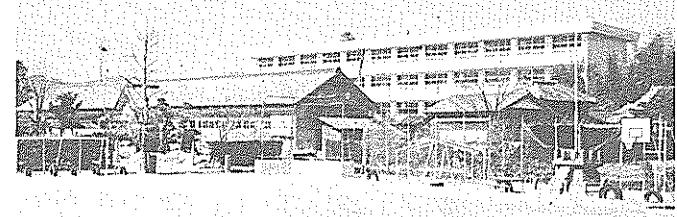
昨年八月から建築を進めていた「後免保育所」と「國府小学校」がこのほど相次いで完成——二月五日、十二日にそれぞれ落成式が行われ、待ちに待つて立派な新園舎、新校舎の完成を祝いました。

「國府小学校」（竹村一校長）と「國府小学校」がこのほど相次いで完成——二月五日、十二日にそれぞれ落成式が行われ、待ちに待つて立派な新園舎、新校舎の完成を祝いました。

新校舎完成で特別教室が充実したこととは今後の学習に大いに役立つものと期待されています。

新校舎完成で特別教室が充実したこととは今後の学習に大いに役立つものと期待されています。

新校舎完成で特別教室が充実したこととは今後の学習に大いに役立つものと期待されています。



鉄筋コンクリート造3階建て、総事業費2億8,333万円で完成した國府小学校

変っていくわがまち④

財政再建のカギを握ると言われて久しく、その処分をめぐつて五十四年から幾多の話し合いなどの「紛(う)余曲折」を経た「比江山」——この土地を市が造成して木材団地へ引き渡すことが決定されたのが、昨年五月三十日に開かれた「臨時議会」のこと。

比江山造成工事も着工以来早くも八ヵ月が経過。異常気象の長雨や設計変更により遅れている造成工事も大詰めを迎え、現場は最後の仕上げの段階に入っています。

比江山の市有地十八㌶は、「運動公園用地」として、市が四十六年から五十二年にかけて買収したものですが、四十九年度から市の財政が次第に悪化、五十一年には「財政再建審議会」を設置、第一次再建計画がスタートし、財政再建が南国市至上命題となりました。

このような背景から、市は財政再建上「比江山処分」はやむを得ないと判断。五十四年二月、地元国府地区に初めて出向き事情説明、可決、ゴーサインがされました。

ところが、造成工事の事業主体、代金の支払い時期、残地六㌶の取



比江山造成工事完成間近

比江山造成工事完成間近 新年度には木材団地の移転が

比江山の市有地十八㌶は、「運動公園用地」として、市が四十六年から五十二年にかけて買収したものですが、四十九年度から市の財政が次第に悪化、五十一年には「財政再建審議会」を設置、第一次再建計画がスタートし、財政再建が南国市至上命題となりました。

このように背景から、市は財政再建上「比江山処分」はやむを得ないと判断。五十四年二月、地元国府地区に初めて出向き事情説明、可決、ゴーサインがされました。

ところが、造成工事の事業主体、代金の支払い時期、残地六㌶の取

り扱い、収支計画などで「空振り」造成工事にストップがかかり、早期着工が足み状態になりました。

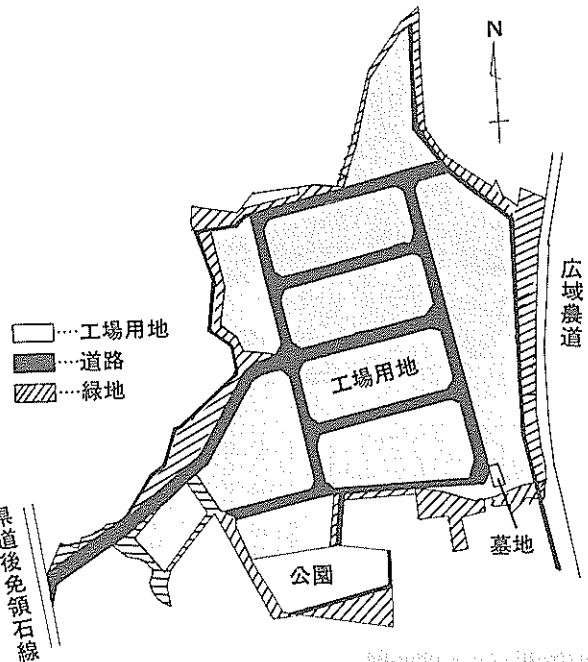
しかし、五十五年五月の臨時議会で、市の計画案に議会も「災害発生防止に万全を期すこと」を条項に早期着工を了承、比江山は大きく姿を変えることになりました。

五十五年七月、念願の起工式が行われ、急ピッチで工事が進められ、これまでとした工場用地と化しています。

新年度からは、いよいよ十八社の移転（製材、家具製造業者など）も始まり、木材工芸団地が実現す

ることになりました。これまでの工事など大詰めの段階で、注目の比江山も広々とした工場用地へと化しています。

これまでの工事など大詰めの段階で、注目の比江山も広々とした工場用地へと化しています。



《木材団地の概要》
総面積 101,702.5 m²
売渡し面積 81,537 m²
売渡し代金（造成前の土地）
9億円=55年6月
30日までに受取済
造成費 4億5883万1千円
(南国市が造成して高知県中央
木材工業団地協同組合へ売却)

比江山東側より(55年8月)
撮影